

2月7日 東地申第46号

2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ 【新宿運輸区】を行う！その①

2022年3月ダイヤ改正では、安全・安定輸送を確保することを前提に、一部列車の延長増発による利便性向上、各種プロジェクトの進捗とご利用状況にあわせた輸送体系の変更を行うことを目的として実施されます。

また、「乗務員の業務等の見直しについて」「東京支社における現業機関における柔軟な働き方の実現について」などの施策により、働く環境が大きく変化することは確実です。

安全・安定輸送を前提として、利便性とお客さまサービスの向上、そして組合員の安全・健康はもとより、働きがい、生きがいを実現するために、以下の申し入れを行いました。

～申し入れ事項～

【共通】

1. 新宿運輸区の運転士・車掌の標準数を明らかにすること。
2. 新宿運輸区の運転士・車掌における、乗務員の業務等の見直しの変更点及び乗務員の労働時間の算定に向けた再実測の変更点について、以下の通り明らかにすること。
(1)徒歩時間
①各駅の詰所から乗継箇所 ②各本区から乗継箇所(準備・整理)
(2)出入区における時間
3. 交番作成、在宅休養時間拡大の観点から引き続き遅・早出勤の数を同数になるよう目指し行路作成を行うこと。
4. 運転士、休日1012行路、便3920E、車掌、休日32行路、便1820E国府津～東京間の便乗を解消すること。
5. 羽沢横浜国大駅乗継時間を2分以上確保すること。

【運転士】

1. 以下の行路の乗継時間を拡大すること。
①平日1014行路国府津駅場面4831Y～回2649M
②休日1015行路国府津駅場面4831Y～2842Y
2. 以下の行路の食事を目的とした乗務の中断時間を拡大すること。
①平日1002行路国府津駅場面1586E～回1853E
②休日1004行路新宿駅乗継場面4522Y～4523Y
3. 2021年度検証交渉で求めているが、大宮口の乗務が各行路に振られているため、輸送の安定性と教育の観点から大宮口乗務を1つの行路にまとめること。
4. 教育の観点から国府津駅8番出区及び国府津駅～小田原駅東海道貨物線の乗務機会を設けること。
5. 平日、休日1014行路321Mの長時間乗務解消へ向け東京駅、国府津駅場面で乗継交代とすること。

その2に続く



2月7日 東地申第46号

2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

【新宿運輸区】を行う！その②

～申し入れ事項～

【車掌】

- 以下の行路において、夕食を目的とした乗務の中断時間を拡大すること。
 - ①平日、休日4行路 3140M～客回5151M
 - ②平日、休日12行路 改46M～改53M
 - ③平日33行路2858Y～2867Y
- 平日45行路2520Y～2525Yは新宿駅での朝食を目的とした乗務の中断を拡大すること。
- 以下の行路の拘束時間を短縮すること。
 - ①全日1行路
 - ②全日13行路
 - ③平平、平休45行路
- 以下の湘南新宿ライン行路における乗務キロを平準化すること。
 - ①平平33行路
 - ②平平、平休45行路
- 中央線特急列車における改札区間の見直しについて会社の考えを明らかにすること。
また、必要な改札業務について引き続き確保すること。
- 特急湘南号全区間1人乗務を判断した根拠を明らかにすること。
また、東海道旅客線の特急列車に乗務しない新宿運輸区車掌は安全の観点から中間ドア扱いは行わないこと。
- 営業カバン導入の経緯を明らかにすると共に現場実態に即した使用方とすること。

【設備】

- 羽沢横浜国大駅詰所内に女性用トイレ拡大を要請すること。
- 小田原駅乗泊の男性、女性用寢室を拡大すること。
- 高輪ゲートウェイ駅から田町センターまでの指定通路について安全に歩行できるよう整備すること。